

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2008-511694(P2008-511694A)

【公表日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2007-528551(P2007-528551)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	3/37	(2006.01)
C 1 1 D	3/50	(2006.01)
C 1 1 B	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 K	8/84	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)
A 6 1 K	8/35	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
D 0 6 L	1/12	(2006.01)
D 0 6 M	15/356	(2006.01)
D 0 6 M	13/224	(2006.01)
D 0 6 M	13/12	(2006.01)
D 0 6 M	13/188	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/20	
C 1 1 D	3/37	
C 1 1 D	3/50	
C 1 1 B	9/00	K
A 6 1 K	8/36	
A 6 1 K	8/84	
A 6 1 K	8/37	
A 6 1 K	8/35	
A 6 1 Q	5/02	
A 6 1 Q	19/10	
D 0 6 L	1/12	
D 0 6 M	15/21	A
D 0 6 M	13/224	
D 0 6 M	13/12	
D 0 6 M	13/188	

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月25日(2008.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

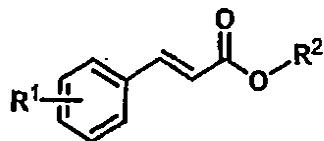
【補正の内容】

【請求項7】

(b) 一般式 - (C H<sub>2</sub> C H<sub>2</sub> N H)<sub>n</sub> - のポリエチレンイミン；

(c) 次式：

【化3】



式中、R<sup>1</sup>は、水素、C<sub>1</sub> - C<sub>16</sub>アルキル、C<sub>1</sub> - C<sub>16</sub>アルコキシ、アリールおよび置換アリールからなる群から選択され、R<sup>2</sup>は、アリール、置換アリールおよびC<sub>6</sub> - C<sub>16</sub>アルキルからなる群から選択される。

で表されるエチレン1個分不飽和な芳香族カルボン酸エステル；

および、任意に芳香性のアルデヒド

を含む、悪臭が起こりやすい洗濯用材料において悪臭を低減するための界面活性剤組成物であって、

材料(b)と(c)と、芳香性のアルデヒドが存在する場合、前記芳香性のアルデヒドとがそれぞれ最大10,000の臭値を有する、前記界面活性剤組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

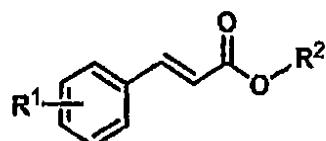
【請求項8】

悪臭が起こりやすい界面活性剤材料において悪臭を低減するための方法であって、

(b) 一般式 - (CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>NH)<sub>n</sub> - のポリエチレンイミン；および

(c) 次式：

【化4】



式中、R<sup>1</sup>は、水素、C<sub>1</sub> - C<sub>16</sub>アルキル、C<sub>1</sub> - C<sub>16</sub>アルコキシ、アリールおよび置換アリールからなる群から選択され、R<sup>2</sup>は、アリール、置換アリールおよびC<sub>6</sub> - C<sub>16</sub>アルキルからなる群から選択される。

で表されるエチレン1個分不飽和な芳香族カルボン酸エステル；

および、任意に芳香性のアルデヒド

から実質的になる組成物の界面活性剤材料への添加を含み、

材料(b)と(c)と、芳香性のアルデヒドが存在する場合、前記アルデヒドとがそれぞれ最大10,000の臭値を有する、前記方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

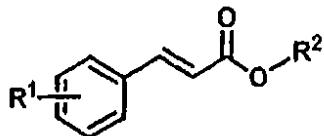
【0014】

低品質の洗濯用材料が頻繁に直面する悪臭の問題を実質的にまたはすっかり完全に克服することによって、本発明は、より広い範囲のアプリケーションにおいてその材料の使用を認める。したがって、本発明は、悪臭が起こりやすい洗濯用材料において悪臭を低減するための組成物を提供し、その組成物は、以下を含む：

(b) 一般式 - (CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>NH)<sub>n</sub> - のポリエチレンイミン；および

(c) 次式：

## 【化3】



式中、R<sup>1</sup>は、水素、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルコキシ、アリールおよび置換アリールからなる群から選択され、およびR<sup>2</sup>は、アリール、置換アリールおよびC<sub>6</sub>-C<sub>16</sub>アルキルからなる群から選択される。

で表されるエチレン1個分不飽和な芳香族カルボン酸エステルを含み、材料(b)および(c)は、最大10,000の臭値(odour value)をそれぞれ有する。

好ましくは、上記組成物は、上記のように、芳香性のアルデヒドをさらに含む。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

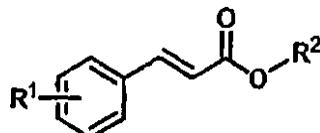
## 【0015】

本発明は、悪臭が起こりやすい洗濯用材料において悪臭を低減する方法をさらに提供し、この方法は、本質的に以下からなる組成物の洗濯用材料への添加を含む

(b) 一般式 - (CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>NH)<sub>n</sub> - のポリエチレンイミン；および

(c) 次式：

## 【化4】



式中、R<sup>1</sup>は、水素、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルコキシ、アリールおよび置換アリールからなる群から選択され、およびR<sup>2</sup>は、アリール、置換アリールおよびC<sub>6</sub>-C<sub>16</sub>アルキルからなる群から選択される。

で表されるエチレン1個分不飽和な芳香族カルボン酸エステルを含み、材料(b)～(c)は、最大10,000の臭値(odour value)をそれぞれ有する。

好ましくは、上記のように、芳香性のアルデヒドも添加される。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0017】

## 例1

5% (w t) のジヒドロファルネサール(dihydrofarnesal) (3,7,11-トリメチル-ドデカ-6,10-ジエナール) (芳香性のアルデヒド)、20% のLUPASOL (商品名) G100 (50% 活性レベル、粘度1200 mPa·s、分子量(重量平均) 50000 (成分(b)))、15% のメトキシ桂皮酸オクチル(octyl methoxy cinnamate) (成分(c))、および60% のミリスチン酸イソプロピル(60%)の混合物を調製し、そして重量で0.2% の用量になるようにその混合物を下記のとおりに石鹼基剤に添加した。この基剤を完全に挽き、そして石鹼ケーキを作製した。このケーキを一日の間ふやけさせ、そして嗅覚によって評価した。石鹼ケーキを上記混合物なしに作製し、対

照として用いた。